

## 第5章 徳徳帖情報を生かした参加型学習の拡充

徳野 理（大阪青山短期大学）

### 1. はじめに

講義形式の授業と学生の擬似体験「ミニ授業」との比較についてはメディア教育開発センター研究報告（2000年3月第13章）においてのべたとおりである。今回は本センター研究報告（1999年3月第11章「学生による授業評価の支援システムと通信票」）をもふまえながら、学生主体の動的参加型学習の拡充を徳徳帖情報等から図ってみた。

### 2. 学生参加型学習の成立とその課題——教育工学「ミニ授業」を実施して——

#### (1) 参加型授業の実施方法と学生の授業評価の変化

次のような3つのクラスに対して平成11年度後期の授業を実施した。いずれも徳徳帖を利用して学生へのフィードバックにつとめた。

##### ① 学生参加型授業

i 教育工学 OA大学 2年生 LEクラス 18人 英語・国語専攻 ミニ授業形式 コンピュータ室 教材（学習指導案の記載事項、学習指導案、メディアの種類と内容、ミニ授業評価集計例、ミニ授業学生・教師評価比較表とその作成方法（EXCEL）、アンケートによる学生相互評価設問（18問））

ii 教育工学 S大学 3年生 Sクラス 25人 英語・国語・日本語専攻 ミニ授業形式 コンピュータ室 教材（LEクラスと同じ）

##### ② 講義式授業

i 生活情報I（データ通信） OA大学 1年生 SPクラス 45人 生活情報専攻 講義形式 普通教室 教材（書きこみ式プリント、教科書）

なお、i、iiの教育工学については3～4時間で教育工学の原理、精神を指導した。

各授業に対する学生の評価は図1のとおりである。

図1によると、i参加型LEについては2000年3月の報告における図1の「ミニ授業」を上回る高い評価であった。ii参加型Sでは、講義形式よりはるかに高いものの、iよりやや低い評価であった。

#### (2) 参加型LEクラスと参加型Sクラスとの差異の生じた原因

参加型LEクラスと参加型Sクラスとの差異を次の観点から調べてみた。

	LEクラス	Sクラス
学習成績評価（平均点）	84.8	80.4
ミニ授業発表者人数	未発表者 18人中0人	未発表者 25人中9人

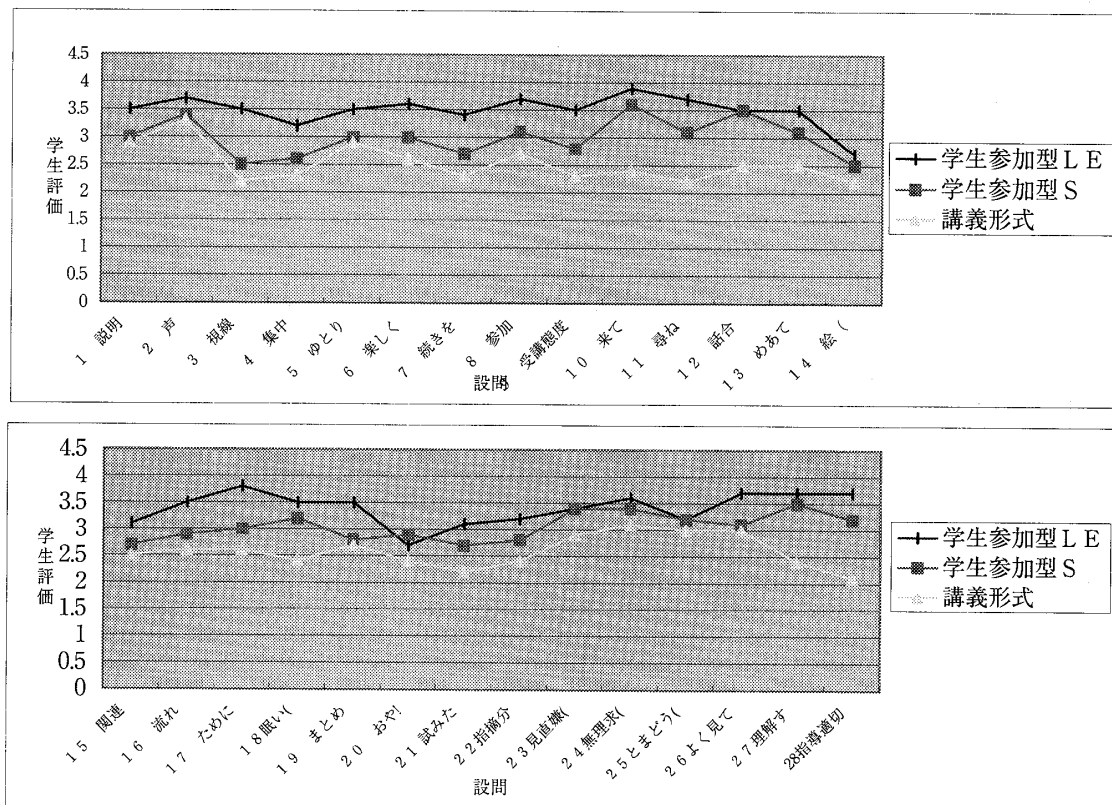


図1 講義形式と学生参加型授業の学生評価の比較

① 徳徳帖等からみた成績の低かった者(4人)の問題点

(・LEクラス ・Sクラス)

- ・ Video 画像処理困難、フロッピー忘れた ・ 4週間あとと少しで完成と言いつける ・ 欠席多い ・ コンピュータ苦手 ・ 発表にどもった ・ 筆記試験31点
- ・ 徳徳帖を家に忘れた ・ しんどい、コンピュータ嫌い ・ 筆記試験34点 ・ コンピュータがダウン

② 徳徳帖等からみた未発表者の問題点(9人) …… Sクラス

- ・ 後少して出来あがると言って4週間たってしまった ・ 発表テーマがなかなか決まらなかった5人
- ・ 他人の発表がすごく上手で授業が楽しい ・ 他人の発表が上手で自分は不安
- ・ ノート型の画面が見難い ・ 教材のストーリーづくりが難しい3人
- ・ コンピュータの使い方2人
- ・ スライド教材の文字数が少ない
- ・ 何回も作りなおす
- ・ 完成できたが未完成に近い
- ・ 教師の説明が理解できない
- ・ コンピュータの調子が悪い
- ・ 他人の発表を聞くのとスライドづくりが同時になる
- ・ 欠席が多い2人
- ・ 肩がこり、目が疲れる
- ・ 保存を忘れたり保存を間違ふ
- ・ 編集に時間をかけすぎ
- ・ はじめから作り直す

これらのことから発表できなかった理由としては次のことが考えられる。

- 1 テーマが決まりにくかった
- 2 教材内容の精選とその表現
- 3 絵コンテをよく考えておく
- 4 パソコン操作の不慣れ
- 5 欠席が多い
- 6 ノートパソコンのレベル
- 7 インターネット教材の

利用

### ③ 学生間相互評価から

Tさんの例を図2に示す。発表した学生の自己評価の方が、ミニ授業を受けた学生たちの授業評価よりやや厳しい傾向にあった。

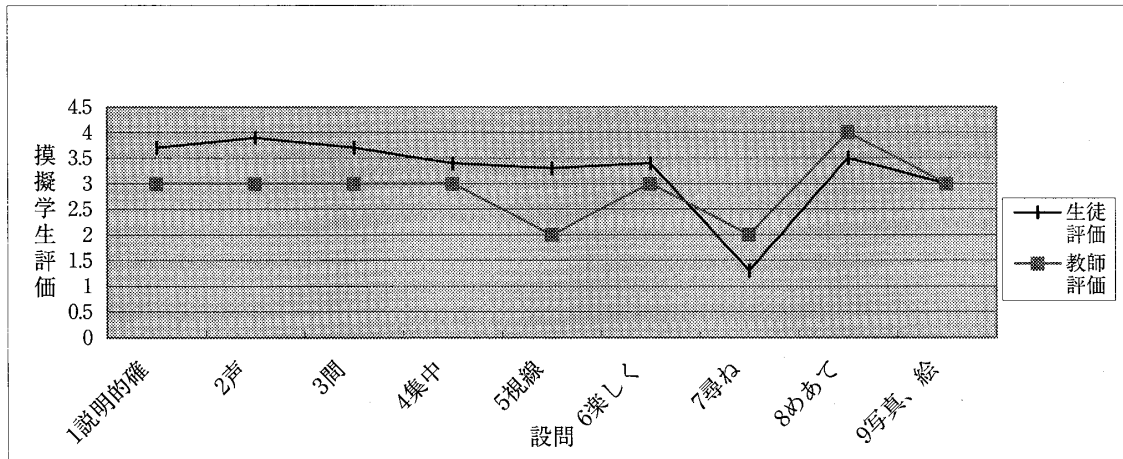


図2 Tさんの集計した授業評価表

Tさんの徳徳帖から

10/12 黒板に緑のペンを使うと少し見づらいです。あまり使用しないでください。

11/2 PowerPointでスライドの作成をしたのですが、授業をするのが楽しになってきました。

11/29 スライド作りが楽しかったです。

12/14 とても楽しい授業をすることが出来ました。よい経験になったと思います。

12/21 皆の発表をいろいろ見ることが出来てとても勉強になったと思います。いいところをいっぱい吸収していきたいです。

Tさんの感想

中学生はどこまで理解することが出来て、どれくらいのことが分かるのだろうということに困りました。内容を簡単にしすぎてもいけないし、難しすぎてもいけないので、そのところを調節するのが難しかったです。でも、ミニ授業の教材を作るのは楽しくて、パソコンを使ったりして授業をするのが初めてだったので、とてもよい経験になりました。楽しい授業に参加することが出来ました。ありがとうございました。

Nさんの徳徳帖から

12/11 みんなの発表上手でした。自分も次の時間に発表できるようにしたいです。出来ているのであとは発表するだけです。

12/18 発表しました。やっぱり英語の教材を理解するのも、理解させるのもとても難しいです。……

1/15 今日は集計するのに精一杯でした。私が思っていたよりも、みんなの評価がよかった

ので少し安心した。

最後に、この授業はコンピュータが使えて楽しかったです。この春にコンピュータを買っていいという許可を得ました。

Nさんの感想

英語だったので何をテーマにして作れば分かりやすく出来るかということでした。……本文や絵を組み込んだりしていくうちに、だんだんとコンピュータを使うにも慣れて楽しかったです。できあがった時には「やった」と思いました。

この授業はけっこう最初思ったよりも自由にのびのびできて、楽しいコンピュータの授業で、参加出来てよかったです。

#### ④ 発表しなかった者の教師授業への評価

9人の集計をグラフ化したものを図3に示す。

これによると説明がよく分からず、授業の続きをあまりしたくない。流れについていけず、受講態度もあまりよいとはいえないと思っているようである。

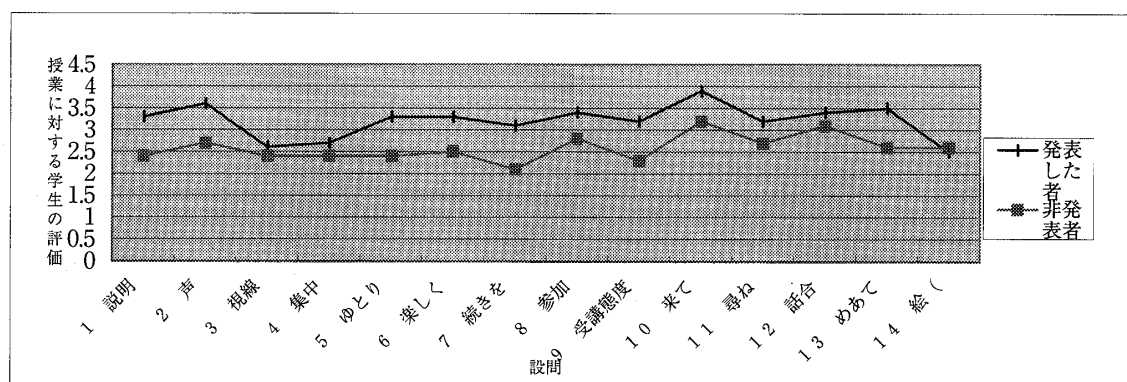


図3 ミニ授業における発表者と非発表者の授業評価の差

### 3. 徳徳帖情報から「セミ参加型学習」授業の展開へ

パソコンを利用した情報リテラシー演習授業を実施した状況を次にのべる。

#### (1) 実施科目 「情報処理概論」

WordとExcelを利用した情報リテラシー教育

#### (2) 対 象 OS大学 被服科1年生 3クラス (合計83人)

#### (3) 実施日時 平成12年4月から9月まで

#### (4) 徳徳帖の「言いたいこと、聞きたいこと、何でもあり、の伝言板」の内容抜粋

##### ① Oさん

5/9 ホームページの見方がわかったのでこれからいっぱい見たいと思う。

##### ② Tさん

4/21 インターネットをのぞきたい。

4/28 楽しそうなホームページがたくさんあったけど、なかなか最後まで行かなかった  
て言うか、始めのあたりしか見れなかった。

6/9 パスワードを変えられてよかった。やっぱり、インターネットはおもしろかった。

6/23 インターネット楽しかった。

7/7 印刷が違ったのでやりなおした。インターネットむづかしかった。

7/14 いっぱいの人にメールが送れてよかった。

### ③TAさん

4/28 2、3限と情報がつづいたのでめっちゃグルメと思っていたけど、3限の情報は  
インターネットを見れて、すごく楽しかったです。

7/14 電子メールすっごく楽しかったよ！

### ④その他（11人）

紙面の関係で11人の要約をのべる。

いずれのクラスも授業の第1回目から第3回目の間にホームページ、電子メールをしたい、  
もっとしたいと伝言板に多数記入している。

⑤そこで、6月に2回、7月に2回ホームページサーフィン、検索、電子メールの授  
業をした。7月の2回には同じ内容を少し掘り下げて説明、演習、相互メール交換、教師とのコ  
ミュニケーションを行った。

その後の学生の反応は、「キーボード入力、文書作成が難しく、これ以上休むと単位が  
ないという学生が、6/30 今日のは忙しかったです。もう休みません。7/7 けっこう大変や  
った。でも楽しかった。ちょっとづつ、上手になったような気がした。7/14 半年たのしか  
った。先生ありがと。」等、伝言板の内容が変わってきた学生が多かった。クラスの雰囲気  
も「パソコンをもっと勉強しよう。インターネットは、かなりおもしろいです。先生の家  
にもメール送ったので見てください。この授業が終わるのが残念です。」などとクラスのム  
ードがセミ参加型学習の状況に変化していった。

次にこの情報処理概論の授業（授業でホームページ検索と電子メールを教えた。）とOA大学  
の科目「OA機器演習」（授業を終わる直前2回にホームページ検索のみを教えた。）との学生の  
授業評価の比較を図3に示す。OA機器演習では、文書入力（絵の挿入、各種テクニックを含む。）

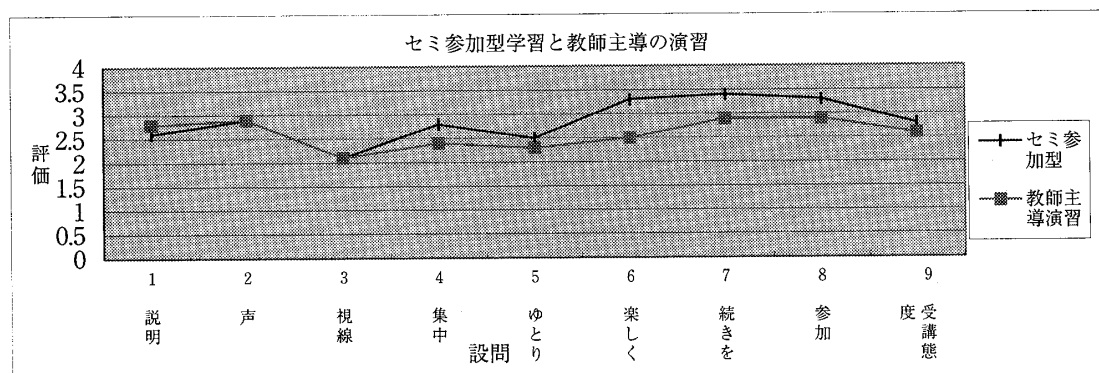


図4 授業の途中でインターネットを教えたクラスとあまり教えなかったクラスの学生評価

とワープロ資格取得に重点をおき、最後の2回だけにホームページの検索を教えた教師主導の授業であった。また、Excelは次回に行うことになっている。

#### 4. 教育工学における「学生参加型学習」の充実

平成11年度後期の実施については上記の2でのべたとおりであるが、平成12年度前期にも次年度学生について実施したので報告する。

##### (1) 主な改善点

- ①教える生徒の対象は中学の何学年かをはっきりさせる。日本語教育の場合は性別、年齢、母国語をはっきりさせる。研修目的を知っておく。
- ②前回実施時の学生の意見から評価用のアンケート設問を改良し18問とした。
- ③前は発表しなかった学生が9人もいたので、全員発表するように工夫した。

##### (2) 具体的な改良事項

- ①前回の徳徳帖の中に「発表はいやだったが、やってみてよかった。」という伝言板があったので、あまり、気がすすまなかったが、授業のタイミングをみて、徳徳帖で「発表しないと単位がない。」というコメントを「おまけの伝言板」に書いた。その数は31人中11人であった。
- ②授業のスピードがあがり、学生間評価グラフ（図5）の完成が速くなり、これに関する感想も充実し、絵コンテ図5の修正の時間がとれた。
- ③今までの懸案であった中央教育審議会、学習指導要領の内容を文部省のホームページから直接開き、i 学習指導要領と総合的な学習、ii 新しい時代を拓く心を育てるために、iii 少子化と教育について議論できた。

##### (3) 改良後の徳徳帖の「伝言板」から（抜粋）

教育工学の授業において、11年度後期の「伝言板」には見られなかった内容が12年度前期の「伝言板」に見られたので記入しておく。

Iさん 5/15 一応、出来ました。でも、家で考えてきたので、案外、すんなりいきました。とても楽しかったです。他にもいろんなものを作りたいです。→5/22 に発表して下さい。5/22 他の人を見ると、つい自分は…と思ってしまいます。その為か自分の作ったものに自信がなかったので、次は頑張ります。→とにかく発表を！！その後で修正する。発表しないと単位がない！ 5/29 一つ勉強になりました。これをいい経験として、教育実習を頑張りたいです。6/5～6/17まで教育実習なのでよろしくお願いします。

Tさん 6/5 みんなの発表は個性が出て、とても聞いていて楽しかったです。しかし、分かりやすくまとめるって難しいなあと思いました。

TYさん 6/12 今日はグラフを作った。グラフを作ると学生たちと自分の評価の比較が簡単に出来、見やすかった。→TYさんのグラフをYドライブで見ました。Goodです。6/19 今日はグラフを完成し、感想（授業の反省）を書いて、絵コンテと一緒に提出した。こうやって、教育工学の原理、絵コンテ、発表、評価グラフ、教材の修正と一通り作業を終えると、時間がかかった分、自分では満足いくものに仕上がったという達成感みたいなものが残った。最初は「発表は嫌だなあ」と思ったが、やってみると、今は良い経験になっ

ミニ授業に関する生徒、教師（発表者）の評価比較

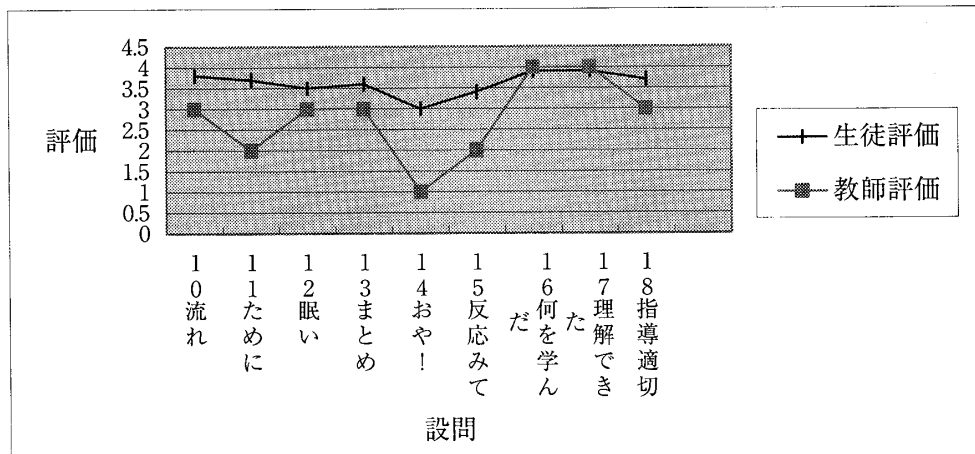
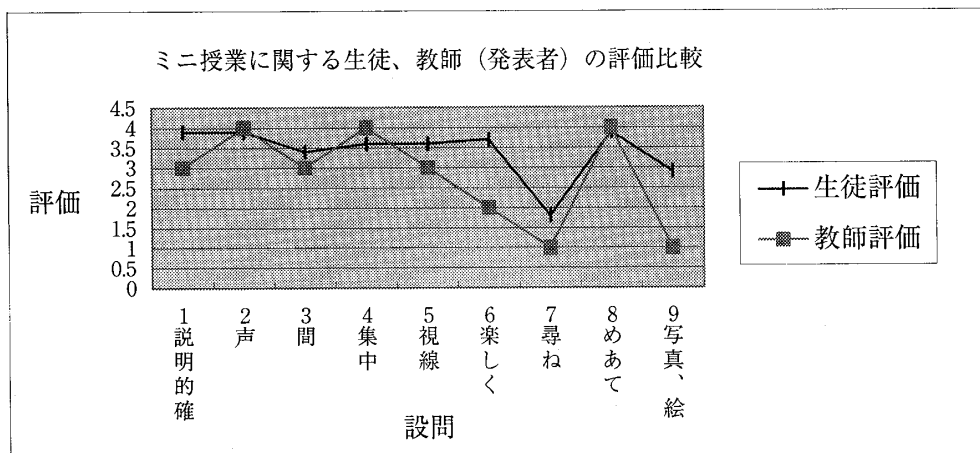
	1説明的確	2声	3間	4集中	5視線	6楽しく	7尋ね	8めあて	9写真、絵
生徒評価	3.9	3.9	3.4	3.6	3.6	3.7	1.8	3.9	2.9
教師評価	3	4	3	4	3	2	1	4	1

	10流れ	11ために	12眠い	13まとめ	14おや！	15反応みて	16何を学ん	17理解でき	18指導適切
生徒評価	3.8	3.7	3.5	3.6	3	3.4	3.9	3.9	3.7
教師評価	3	2	3	3	1	2	4	4	3

（注） 設問9、12、16は反転(5-評価点)とすること。

生徒評価は各生徒の評価(4321)の総和を生徒人数で除算すること。

（発表者氏名：言語3 T子）



### 感想

初めて自分で教材を作り模擬授業をやってみました、非常に難しいものでした。自分の教材は、学習の目的・分かりやすさにおいてはよくできていたと思います。でも、生徒評価からもわかるように、何か目を引く・面白さが（7，9，14）欠けていたようです。確かに、自分自身でも授業の単調さを感じました。日本語を母語としない学習者にとって、単調な授業は本当に退屈なものとなります。絵や写真の挿入は技術ですが、授業内容に工夫を凝らすのは自分の努力次第だと思います。以後気をつけて、生徒の視線を持ちながら授業作りをしていきます。今回はとても良い経験になりました。

図5 ミニ授業に関する生徒、教師（発表者）の評価比較

メディアの内容（絵コンテ） スライド6枚程度（テーマ、氏名等を含む）

専攻（英語） 学年（3） 番号（58） 氏名（ ）

(スライド 1)	日本語で自分の事を話そう!!	テーマ 自己紹介	氏名	
写真等	専攻 英語 学年 3 番号 58			
(スライド 2)	A 導入（導入用教材）	<p>A. 初めまして。わたしは田中です。どうぞよろしく。</p> <p>B. わたしはキムです。どうぞよろしく。</p>	<p>4行7行</p> <p>1 導入用課題の提示 2 動機づけ 3 問題意識の高揚</p>	
(スライド 3)	B 展開（下位目標に関する指導）—自分の事をしなうおう!—	<p>☆ ボキャブラリーをふやす。</p> <p>自分の事を相手に もと知ってもらう為 ここは(比較的)簡単で。 よく使われる 自己紹介文を 勉強する。</p> <p>わたしは 韓国 からきた キム です。 国別大学 女子大学の 留学生 です。 日本語を勉強しています。 私の家族は ... わたしは 敬語が 好きです。</p> <p>みねさん 覚えてましたか?</p>	<p>1 学習課題（下位目標用教材）の提示 2 学習目標の具体化 3 不明点の抽出</p>	
今まで 学級で習った 事の復習	(スライド 4)	<p>C 展開（補強・追加）</p> <p>— もんだい — 次のカッコにある言葉をキーワードから選り、文を完成させなさい。</p> <p>問題を提示し 自己紹介文の 流れがつかめているかを確認。 ( )にボキャブラリーから1つずつ あう言葉を選んでもらう。 できた文を 皆で読んで ( )の 所をそれぞれ生徒自身について言うよう変えさせ 1人1人 確認。</p> <p>初めまして わたしは (キム) の (キム) です。 (国別大学) の (留学生) です。 (日本語) を勉強しています。 どうぞよろしく。</p> <p>キーワード キム、国別大学、日本語、キム 皆さん ちゃんとできましたか?</p>	<p>1 強化・競争場面の構成 2 高める 場面</p>	
初めまして どうも を覚えています	(スライド 5)	D 展開（目標に関する学習）	<p>— いろいろなあいさつ —</p> <p>初めまして おはようございます。 こんにちは。 こんばんわ。</p> <p>どうぞよろしく よろしく (親称) よろしくお願ひします。(ていねい)</p>	<p>1 学習課題の焦点化 2 一般化</p>
(スライド 6)	E まとめ（まとめ用教材）	<p>— まとめ —</p> <p>1人1人が、ちゃんと自己紹介 できるようにする。 発表。</p> <p>皆さん おはようございます。 わたしは 韓国の キム です。 国別大学の 留学生 です。 日本語を勉強しています。 よろしくお願ひします。</p>	<p>1 学習結果の見直し 2 学習結果の定着</p>	

(注) 1 各スライドは4～7行とする  
2 強調したいスライドにアニメや絵を貼り付ける

図6 メディアの内容（絵コンテ）スライド6枚程度（テーマ、氏名等を含む）



たと思う。→ご苦労さま、すばらしかった！ 6/26 今日はホームページでいろいろ検索していたが、総合的学習指導要覧？についてのホームページが探せなかった。また、これらのホームページを探してまとめなければならぬので、読むのが大変だなと思った。→検索は「学習指導要領」、「総合的学習」でネ。7/10 今日は、授業最終日でした。4月から今日まで、長いようでとても短く、あっという間に過ぎた気がします。講義形式の授業や、PowerPointを使った発表、コンピュータを使った学習、特にホームページなど、この授業自体から現在の教育の在り方を示していたように思う。後は、精一杯テストを頑張ろうと思う。

Sさん 7/3 教育についていろいろな考えや対策があるのに驚いた。それほど教育について考えられているのに、何故、学級崩壊が流れ入ったのでしょうか。

## 5. 講義式授業の中に課題発表を取り入れて

### (1) 授業科目と内容

生活情報Ⅱ インターネットに象徴されるデジタル情報通信という社会基盤の誕生によりこれまでの時代の概念では理解しがたい変革が起こりつつある。これらがわれわれの生活をどのように変化させるかを考え情報化社会に生きる力を育てる。

### (2) 実施対象 OA大学 生活科学科 2年次 44人

### (3) 授業展開 ①講義形式でデジタル情報通信の進展状況を学ぶ。②次に、課題として、われわれの生活に及ぼす具体例等をインターネットのホームページで調べ、これを絵コンテにまとめて、クラスで発表(PowerPoint等)する。③最後に、講義形式で、これからの社会生活のあり方を考える。

### (4) 教材 教科書、課題プリントNo1～No4 (No3を図6に示す)、徳徳帖

### (5) 使用教室 第2コンピュータ室 (60台) 学内LANの一部

本授業での発表内容の一部を図8-1、図8-2に示す。

授業紹介の一部として、徳徳帖の伝言板の抜粋を次に示す。

T Aさん 4/13 ホームページを開いたことがないので見てみたい。4/20 ホームページは面白い。リクナビも登録出来て良かった。4/47 ホームページのなかのどれを選ぶか。まだ決めてないので速く決めないと。5/11 発表の内容は「2分で分かるあなたの本当に見たい映画」に決定。5/18 ホームページ発表するのがイヤです。5/25 今度はちゃんと発表します。もうすぐ出来あがりです。6/8 発表は緊張しました。私たちが調べたホームページにはイラストがなかったので、取り入れられなかったけど、他のみんなはイラストがかわいかったです。6/15 今日の発表はおもしろかった。特に藤井 隆の発表は笑えた。6/29 ケイタイに求人のメールがはいってきてビックリしました。興味のある人は返信するというものです。便利な時代になりました。

Iさん 4/13 最初の授業だったけど、むづかしかった。これから頑張ろうと思う。4/20 今日はいろんなホームページが見れてけっこう面白かった。4/27 けっこう進んだ。頑張ろうと思う。5/11 ホームページの内容が決まった。おもしろいのを作れたらいいと思う。5/18 絵コンテ今日はあんまり進めなかった。次はしあげるように頑張ろうと思う。6/8 今日発表し

8 日本の主要なサーチ・エンジン5つをあげ、エンジン名、URLをはじめそれぞれの特徴をのべなさい。

9 SOHOノウハウとテレワークの特徴をのべなさい。

10 電子モールが人気を集める原因と生き残り術をのべなさい。

11 ネットオークションの楽しさとトラブルについてのべなさい。

12 電子書店の例をあげ説明しなさい。

- 1 □ @びあ  
URL <http://www.pla.co.jp/>  
2SP205 梅森 仁美
- 2 ㊦ ホームページの内容  
■ チケットを検索&購入  
■ お店紹介&予約  
■ 音楽配信サービス  
■ DVDソフト検索
- 3 □ ホームページの特徴  
■ 役にたつこと  
■ ジャンル別、目的別にチケット検索できる  
■ 料理別、目的別、エリア別、予算別に店を検索できる  
■ リンク先  
■ 映画、音楽、演劇、スポーツ、アート、レジャー、その他各企業や団体
- 4 ㊦ ホームページの感想  
■ カラフルで見やすい。手に入れたチケットや店をすぐに探することができる。  
■ リンク先もいろいろ分かれていて、とにかく簡単に検索することができる。

図 8-1

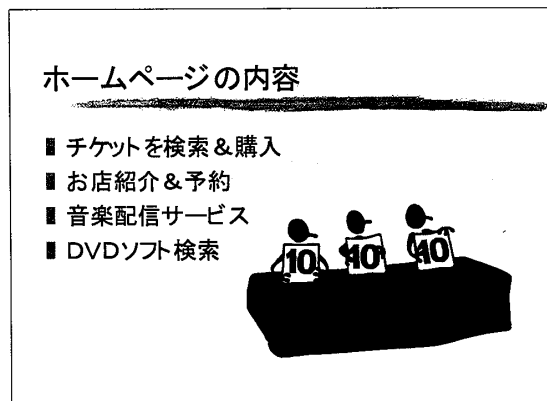


図 8-2 ホームページの内容

た。バッグについてホームページを作成した。元気の出ている商店だった。上手に出来て良かったと思う。7/6 テストのまとめをやった。よく分かったと思う。プリント全部出来なかった。7/19 全部プリント持って来たつもりだったけど、未だ足りなかった。でもがんばった。

S Aさん 4/20 もっといろんなホームページを見たいと思った。席が後ろの方過ぎて、声が聞こえにくい。4/27 パワーポイントは楽しかった。卒研発表の時に必要らしいので、きちんと使い方を覚えようと思う。5/18 作ってみたら、けっこう楽しかった。やりだすと止まらなくなった。もっとこりたかったです。とりあえずは出来たからOK!! 5/25 みんなの作品を見たけれど、どれも、きちんと出来ているな!と思った。見やすい作品とかもあって、私もそのいい面を取り入れようと思った。6/15 日が経つごとに作品がグレードアップしていて、時間をかければいいものが出来ると思った。

Oさん 4/20 今日は忙しかったです。これからホームページ作成頑張ります。5/11 今日はホームページを選ぶのに時間かかりすぎて困った。内容は決まったので後は完成させるだけです。5/18 今日はだいぶん進んだ。音楽をつけたいと思う。次回発表出来そう。5/25 今日発表した。ドキドキだった。質問とか出てきてびびった。6/15 今日は「藤井隆」のHPを発表している人がいたのは面白かったです。6/29 今日は長く感じました。しんどいです。がんばりました。7/6 もうすぐ試験です。なかなか大変だけどがんばります。

しんや君 4/20 今日、リクルートナビゲーションの会員に入りましたが、自分の希望をする企業が見つけれなかった。4/27 アニメーション サイコーにサイコ!! 5/25 僕の画像はめっちゃかっこええでー (この時間あたりから他の先生が参観に来て、いろいろと感想を述べてくださった。) 6/8 発表は緊張した。唄えと言われたがはずかしく唄えない。6/15 この授業は好きです。

この授業に対する学生の授業評価を表1に示す。教師の一方的な講義でなく、学生の参加を取り入れ少しでも楽しい生きた授業をと心がけた。徳徳帖から分かるように学生・教師ともに課題発表にむけた「授業への参加」にもりあがった。その後、科目の目標に沿った復習の講義を持ち、前期の試験を行った。

表1に「アンケートによる学生の授業評価」の結果を示す。これによると発表がもりあがっ

たほどには、よい評価としてあらわれなかったが、⑤ゆとり、⑥楽しく、⑧参加について向上していることは肯ける。

	1 説明	2 声	3 視線	4 集中	5 ゆとり	6 楽しく	7 続きを	8 参加	9 受講態度
講義(H11)	3.1	3.3	2	2.4	2.6	2.5	2.5	2.8	2.1
講義+参加(H12)	3	3.4	2.2	2.4	2.9	2.9	2.7	3	2.4

10 来て	11 尋ね	12 話合	13 めあて	14 絵 (	15 関連	16 流れ	17 ために	18 眠い	19 まとめ
2.6	2.3	2.9	2.8	2	2.6	2.7	3	2.7	3
3.1	2.7	3	2.5	2.3	2.6	2.4	2.8	2.4	2.7

20 おや!	21 試みた	22 指摘分	23 見直嫌	24 無理求	25 とまどう	26 よく見て	27 理解す	28 指導適切
2.6	2.6	2.6	2.8	3.2	2.7	3.2	2.8	3
2.5	2.6	2.6	2.8	3	2.5	2.9	3	3

表1 講義式授業（H11年度）と課題発表を行って学生に参加させた授業（12年度）との比較

## 6. まとめ

平成12年度前期の「ミニ授業」教育工学では、前年度の教訓を生かして、発表に対する不安やためらいをなくし課題作成の準備時間のロスを少なくするため、先輩の作品を見せたり、不本意ながら徳徳帖の「おまけの伝言板」に「発表しなければ単位がない」といったコメントを書いた。その結果、全員が発表出来て参加意欲が増し、懸案であった評価グラフを生かした教材の修正、授業の反省、感想が充実した。さらに、ホームページを開いて「総合的な学習」、「心を拓く教育」、「少子化と教育」などについて議論ができ前回の授業内容より幅広く、深く展開できた。学生のこの授業に対するアンケート式の授業評価は前回と比べてほぼ変化はなかった。

「学生の授業評価」を授業改善の指針として改善を図り、私の授業に自信を持ち悩みながらも楽しい授業が出来るようになった。しかし、学生評価は実施するタイミング、時期、時間的ゆとりなどで変化するものである。

授業に対する評価は、学生の評価のみでなく教師自身の反省、満足度も必要である。さらに「生活情報Ⅱ」の授業に他の教師が参観に来て、意見・指導を頂くことが出来たが、それらを謙虚に生かすことも肝要である。

学生がすすんで教材作り、発表課題、教師を含めた相互メール交換ができるようにテーマ設定情報、授業の骨組みと絵コンテ、絵、写真教材の充実、ネット上からの教材の取得、コンピュータ操作等学習環境を整備し課題解決に向かってさらに工夫をしたい。

学生主体の学生参加学習について種々の方策や工夫をしてきた。「授業は生きて動くもの」で、教師の熱意と気力が直接、学生の授業評価につながる。1コマの授業に種々の学習形態・環境をタイミングよく挿入し、学生だけでなく教師も含めて「のりの良い」生きた授業の実現に努めてきた。最後に、長年にわたりメディア教育開発センターの教授・学習評価支援システムを使用させて頂き効率よくデータ収集ができた。最新の種々の研修会を開催され、これらに

期待を膨らませて自己点検、自己評価、授業改善に取り組むことができた。センターの関係の先生方に厚くお礼申し上げます。

(参考文献)

- (1) 徳野 理 (1994) 授業におけるパソコン利用の一方策、大阪青山短期大学研究紀要第20号、p197-202)
- (2) 徳野 理 (1994) 講義「教育工学」における授業改善—自己点検を行って—、第20回全日本教育工学研究協議会全国大会研究発表論文集、1994-10、139-142
- (3) 徳野 理 (1995) 講義・演習における授業改善、日本教育工学会研究報告集、JET 95-1、75-82
- (4) 安彦忠彦著 (1994) 自己評価 「自己教育論」を超えて、図書文化社
- (5) 梶田叡一著；教育評価 [第2版] (1994) 有斐閣双書
- (6) 徳野 理 (1996) 授業における自己評価の客観化と自動化、大阪青山短期大学研究紀要22号、p51-72、平成8年3月25日
- (7) 徳野 理 (1997) プレゼンテーションソフトの動的利用と学生のコンピュータリテラシー、大阪青山短期大学研究紀要23号、p21-35、平成9年3月25日
- (8) 織田揮準 (1991) 大福帖による授業改善の試み —大福帖効果の分析—、三重大学教育学部研究紀要第42巻 (教育科学)、p165-174
- (9) 徳野 理 (1998) 学生による授業評価支援システムと通信票、大阪青山 短期大学研究紀要24号、p 1-8、平成10年3月20日
- (10) 坂元 昂 = 編著；教育の方法と技術 (1990) ぎょうせい
- (11) 山根一眞 著；デジタル産業革命 (1998) 講談社現代新書
- (12) 徳野 理 (1999) 通信票・教材資料が授業評価におよぼす影響、大阪青山短期大学研究紀要25号 (開学30周年記念号)、p1-14、平成11年12月25日